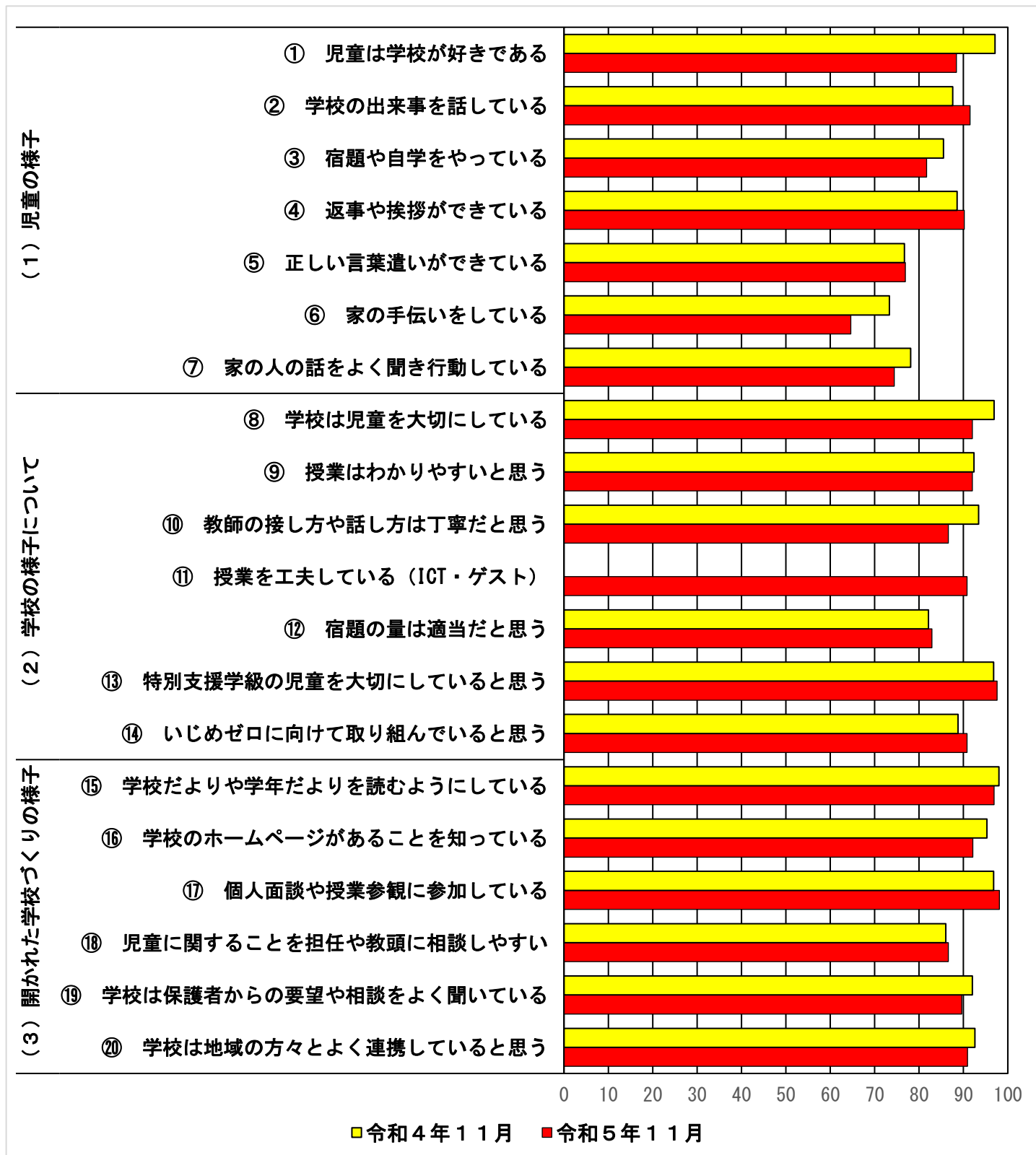


保護者による学校評価



■ 令和4年11月 ■ 令和5年11月

左ページのグラフは、今月、「マチコミ」を使ってお答えいただいた学校評価の「とてもあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価の割合を、昨年同時期に実施したものと比較させたものです。

まず、保護者の皆様のご覧になったお子様の様子ですが、④「返事や挨拶」と⑤「言葉遣い」の項目で、昨年度よりも割合が大きくなっています。これは、対人関係を円滑にするためにとても良いことです。ただ、①「学校は楽しい」が90%を下回ったことは残念でなりません。⑧「児童を大切にしている」や⑩「教師の話し方・接し方」の結果も合わせて、私たちが振り返りをしっかり行い、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。お気づきのところがあれば、ご指摘をいただければ幸いです。

⑥「家の手伝い」の評価が低いことも気になります。ぜひ、家族の一員として子供たちに役割を分担していただけるとよろしいかと思えます。

続いて、学校の様子についてですが、運動会、授業参観、音楽発表会などを保護者の皆様に見ていただき、家庭科や町探検などではボランティア保護者様のご協力をいただき、大変感謝しております。その中で、⑨「授業はわかりやすい」、⑪「授業を工夫している」で高評価をいただけたのは、本校職員の励みになります。また、⑬「特別支援学級の児童を大切にしている」も高評価をいただきました。本校では特別支援教育の充実も経営方針の一つとしています。特別支援学級の在籍かどうかに関わらず、お子様のことで気になることがございましたら、ご遠慮なくご相談ください。特別支援コーディネーターの山本亜紀子教諭や養護の林桂子教諭、スクールカウンセラーの関井淑子先生などが窓口となり、いつでも相談できる体制を整えております。

⑭「いじめゼロへの取組」については、肯定的評価が90%を超えることができました。今後も「いじめゼロ」を目指して取り組んでまいります。なかなか根絶することは難しいものです。子供たちが少しでも嫌な思いや辛い思いをしないように早期発見・早期解決に尽力してまいります。早期発見には素早い情報獲得が肝となります。ご家庭でも、気になることがありましたら迷わずご連絡ください。保護者の皆様のご協力の下、早期解決をしていきたいと思えます。

開かれた学校づくりについてですが、⑯「相談しやすい」の肯定的評価が90%を割り込んでしまったことは、大変重く受け止めています。学校は、担任や教頭に限らず、学年主任、特別支援コーディネーター、養護教諭、生徒指導主任、長欠担当、教務主任、校長など、学級という枠にとらわれない立場の職員が多数おります。何かございましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。また⑰「要望」についてですが、内容により、PTA本部や、市行政、教育委員会などとも協議し、できるだけご要望にお応えしようと努めております。しかしながら、「ない袖は振れぬ」の例え通り、物理的に無理なこと（駐車場問題など）については、お応えできないことも多々生じます。その点についてはご容赦いただきたくお願い申し上げます。

この度は、たくさんの保護者様にご回答いただき、ありがとうございました。ご回答の結果を真摯に受け止め、一層のご理解・高評価をいただけますよう頑張っております。今後ともよろしく申し上げます。

